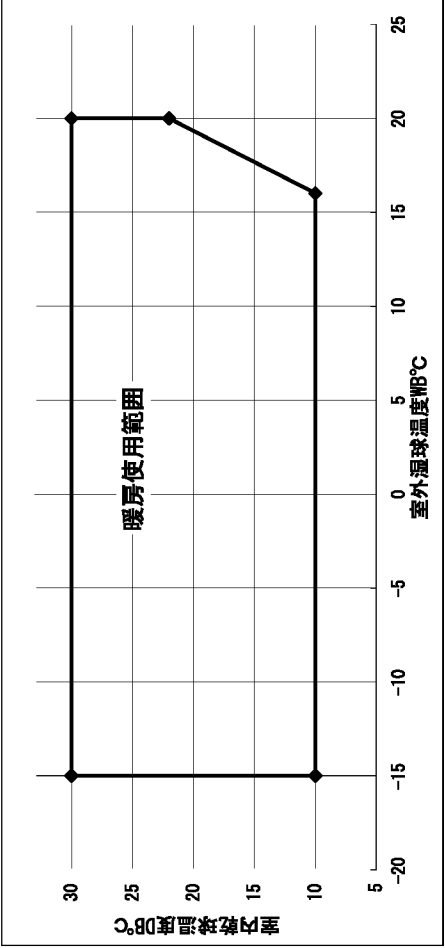
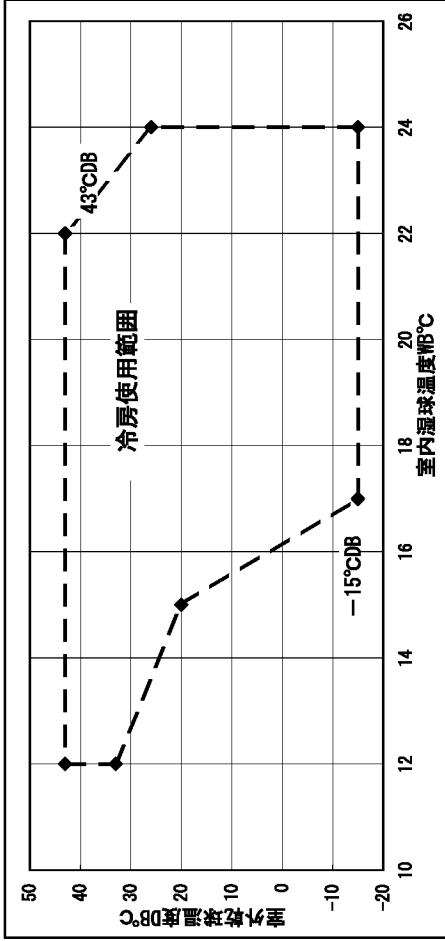


適用地域	ヒートポンプ機（暖房運転を考慮して）日最低気温が12～3月の冬期4ヶ月間の平均値で0℃DB以上であって降雪の多くない地域。 降雪地域では、防雪フード(フロッグ)を組付け使用してください。		
設置場所	室内機は、間仕切りの無い同一の部屋に設置し、空調負荷が同一となる条件で使用してください。 外形図に据付スペースに関する制限を記載しております。 室内ユニットの据付は、床面から2.5m以上としてください。＜FDT、FDR の場合＞		
電源電圧	室内ユニットの雰囲気（天井裏）温度・湿度 露点温度28℃以下、相対湿度80％以下		
	1サイクル時間	7分以上（停止～停止 / 始動～始動）	
	停止時間	3分以上	
	電圧変動	定格電圧 200V±10％以内	
	始動時の電圧低下 相間アンバランス	定格電圧 200Vの15％ 3％以内	



次のような場所への設置は行わないでください。

- 可燃性ガスの漏れる恐れがある場所。
- 硫黄系ガス・塩素系ガス・酸・アルカリ等、機器に影響する物質の発生・滞留する所。
- 調理場や機械工場などの、油の飛沫や油煙・蒸気の立ち込める場所。
- 電磁波・高周波の発生する機器の近く。
- 海岸地帯の潮風が直接当たる場所。
- 煙突の煙がかかる場所。
- カーボン繊維や金属分・パウダー等が浮遊する場所。
- 化粧品、特殊なスプレーを頻繁に使用する所。

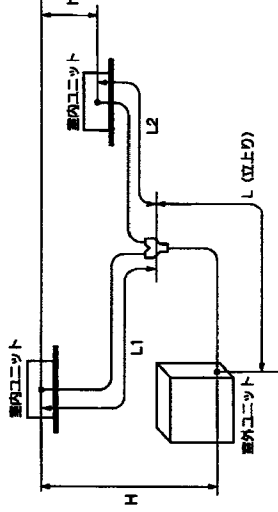
- 車両・船舶等移動するものへの設置。
- 積雪の多い所
- 標高1000m以上の場所。
- 洗たく室等 水が掛かる場所。
室内機は水の浸入に対する保護はしていません。
- ワイヤレス仕様で使われる場合、受信部に影響のある光線が飛び交う所。

- 同じ室外機に接続されている室内機は、間仕切りのない同一の部屋に設置し、空調負荷が同一となる条件で使用してください。
空調負荷が同一でない場合は、能力不足や水漏れの可能性があります。

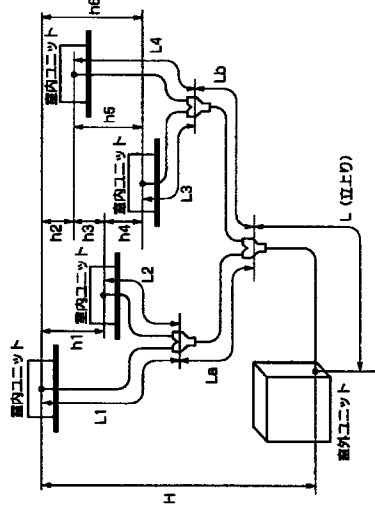
形式			
案行番	名称	使用範囲	
笠原	図番	SPECIFICATION	
'08.03.06	訂 符	PCA001Z555	葉 別 1/3

配管制限				制限長さ	ツイン機	トリプル機	Wツイン機
片道配管長	室外ユニット容量			50m以下	L+L1+L2	別紙参照 (葉別 3)	L+La+L1
	XP2243	液配管	φ9.52	40m以下	L+L1	別紙参照 (葉別 3)	L+La+L2
			φ12.7	70m以下	L+L2		L+Lb+L3
	XP2803			70m以下			L+Lb+L4
主管長	XP1123・XP1403・XP1603			50m以下	L	別紙参照 (葉別 3)	L
	XP2243	液配管	φ9.52	40m以下			
			φ12.7	70m以下			
	XP2803			70m以下			
第1分岐～室内機間の片道長さ	XP1123～XP2803			30m以下	L1, L2	別紙参照 (葉別 3)	La+L1, La+L2, Lb+L3, Lb+L4
第1分岐～室内機間の片道長さの差	XP1123～XP2803			10m以内	L1-L2, L2-L1	別紙参照 (葉別 3)	L1-L2, L2-L1, L3-L4, L4-L3 (L1+La)-(L3+Lb), (L1+La)-(L4+Lb) (L2+La)-(L3+Lb), (L2+La)-(L4+Lb)
第2分岐～室内機間の総配管長 室内・室外ユニット間の高さの差				15m以下			L1+L2, L3+L4
	室外ユニットが上の場合			30m以下	H	別紙参照 (葉別 3)	H
	室外ユニットが下の場合			15m以下	h		
	室内ユニット間の高さの差			0.5m以内		別紙参照 (葉別 3)	h1, h2, h3, h4, h5, h6

<ツイン機>



<Wツイン機>



- 1) 配管長が3mより短い場合は工場出荷チャージ量から-1kgの調整を行ってください。
- 2) 配管は、使用する雰囲気に対応した断熱を実施してください。
- 3) 相対湿度が70%を超える天井内等では、厚さ20mm以上の断熱が必要になります。
- 4) 室内・室外ユニット付属の据付説明書に施工上の確認事項を記載しております
- 5) 据付される前に据付説明書をよくお読みいただき、指示通りに施工してください。

配管制限				
同機種同容量、異機種同容量 XP1603・XP2243の場合				
制限項目		室外ユニット容量	制限長さ	トリプル機
片道配管長	XP1603		50m以下	図A 第1分岐管～各室内機までの配管長さ 3m未満 3m以上 3m以上
	XP2243	液配管	40m以下 70m以下	$L+L1+L2+L3$ ※1
	XP1603		50m以下	$L+L1, L+L2, L+L3$ ※1
	XP2243	液配管	40m以下 70m以下	L
主管長	XP1603		50m以下	
	XP2243	液配管	40m以下 70m以下	L
	XP1603・XP2243		5m以下	L_a
	XP1603・XP2243		30m以下	$L1$ ※1
第1～第2分岐間の片道長さ 接続する室内機間の片道長さ	XP1603・XP2243		27m以下	L_a+L2, L_a+L3 ※1
	XP1603・XP2243	注(1)	3m未満	
	XP1603・XP2243	注(2)	3m以上10m以下	$L1-L2, L1-L3, L2-L3$
	XP1603・XP2243		10m以下	$L1-(L_a+L2), L1-(L_a+L3)$ ※1
第2分岐～室内機間の片道長さの差	室内・室外ユニット間の高さの差		30m以下	$L2-L3$
	室内・室外ユニット間の高さの差		15m以下	H
	室内・室外ユニット間の高さの差		0.5m以内	$h1, h2, h3$
	室内・室外ユニット間の高さの差			$h1, h2, h3$
同機種異容量、異機種異容量 XP2803の場合				
制限項目		室外ユニット容量	制限長さ	トリプル機
片道配管長	XP2803		70m以下	図B 第1分岐管～各室内機までの配管長さ 3m未満 3m以上
	XP2803		70m以下	$L+L1$ ※2
	XP2803		5m以下	L
	XP2803		30m以下	L_a
第1～第2分岐間の片道長さ	XP2803		30m以下	$L1$ ※2
	XP2803		27m以下	L_a+L2, L_a+L3
	XP2803	注(3)	3m未満	$L1-(L_a+L2), L1-(L_a+L3)$ ※2
	室内・室外ユニット間の高さの差		30m以下	H
室内・室外ユニット間の高さの差	室内・室外ユニット間の高さの差		15m以下	
	室内・室外ユニット間の高さの差		0.5m以内	$h1, h2, h3$
	室内・室外ユニット間の高さの差			
	室内・室外ユニット間の高さの差			

注(1) 下記、分岐管を使用してください。

XP160⇒ DIS-TAI

XP224⇒ DIS-TBI

注(2) 下記、分岐管を使用してください。

XP160⇒ DIS-WAI ×2セット

XP224⇒ 第1分岐：DIS-WB1、第2分岐：DIS-WA1

注(3) 下記、分岐管を使用してください。

XP280⇒ 第1分岐：DIS-WB1、第2分岐：DIS-WA1

1) 配管長が3mより短い場合は工場出荷チャージ量から-1kgの調整を行ってください。

2) 配管は、使用する雰囲気に対応した断熱を実施してください。

3) 相対湿度が70%を越える天井内等では、厚さ20mm以上の断熱が必要になります。

4) 室内・室外ユニット付属の据付説明書に施工上の確認事項を記載しております。

5) 据付される前に据付説明書をよくお読みいただき、指示通りに施工してください。

※1) L1には、片道長さが最大となる室内ユニットを接続してください。

(L_a+L2)と(L_a+L3)は、L1に対し片道長さの差が3m以上10m以下の制限長さ内にしてください。

※2) L1には、機種容量が最大となる室内ユニットを接続してください。

図A <トリプル機>

図B <トリプル機>